



令和6年度 学校経営方針

はじめに、5年振りのコロナ禍でない新学期を迎え、今まで、コロナ禍により、社会と子ども達が切り離されていた中、今年度は、人と人との「つながり」や「体験の充実」を一層重視できることをめざします。

また、本校は、開校以来、文武両道の精神のもと、教育目標「確かな知性」「豊かな感性」「健全な心身」を掲げ、地域や保護者の皆様とともに「墨田にある勢いのある学校」をめざそデジタル教材を活用した学習を重視した教育を図ってきました。

今年は、開校12年目となります。スローガンも、「つなぐ伝統 築こう未来」に変え、桜堤中にも「変革」の風が吹くように、しっかり風を読みたいと思います。

そして、4つの「CHA」で進みます。これはチャッチャと済ませることではないです。

コロナ禍で蓄えた「経験知」を「CHARGE」チャージ（充電）し、「CHANCE」チャンス（好機）として捉え、「CHALLENGE」チャレンジ（挑戦）し、「CHANGE」チェンジ（変わる）することもめざしたいと考えます。

生徒一人ひとりが、自己肯定感を高め、自分の未来を見つけられるように、子ども達の思いを丁寧に聴く、そして、私たちから「誠実に思いを伝える」ことの二つを心がけて、「今日から、自分ができる、自分にしかできないこと」を考えさせたいと思います。

1 本校の教育目標（文武両道の精神のもと、以下の教育目標を定める

○ 確かな知性 ○ 豊かな感性 ○ 健全な心身

スローガン「つなぐ伝統 築こう未来」

2 目指す学校像

- (1) 一人ひとりの生徒を大切にする学校
- (2) 「質」の高い教育活動を実現する学校
- (3) 地域・保護者と共につくる学校

3 目指す生徒像

- (1) 基礎学力を身に付け、自ら学び、将来の夢に向かって努力する生徒
- (2) 地域を愛し、思いやりの心を大切にして、自分の行動に責任をもつ生徒
- (3) 心身ともに健康で、何事にも根気強く挑戦する生徒

4 目指す教師像

- (1) 一人ひとりの生徒に目を向け、生徒のために全力で何事にも取り組む教師
- (2) 授業を第一に考え、授業力向上のための実践と研修に取り組み、常に創意工夫する情熱的な教師
- (3) すべての教育活動に積極的に取り組み、組織的に協働する教師

5 学校経営方針とその重点方策

(1) 確かな学力の向上

- ① 桜堤中スタンダードを基に、ICT機器やタブレット端末などを積極的に活用したデジタル学習を充実させ、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を実現する。
- ② 数学の授業は「東京方式習熟度別指導ガイドライン」。英語の授業は、「東京方式少人数習熟度別指導ガイドライン」に沿って、「個」に応じた学びを大切に実践する。
- ③ 生活記録DIARYを活用し、生徒自らが課題を見付けさせ「自己調整力」を育成する。
- ④ 子ども達の「できる」「分かる」までの学びを繰り返すことで、指導の充実を図る。

- ⑥各種検定（漢検・英検・数検）を積極的に受検する支援を行う。朝学習を活用したタイピング強化週間や5教科「コンテスト」を計画的に実施する。

（2）豊かな人間性の育成

- ①社会生活の基礎となる桜堤中学校生活目標「あじみこし」（あ：挨拶、返事・じ：時間・み：身だしなみ・こ：言葉遣い・し：姿勢）を通して、授業規律・生活習慣を確立する。
- ②日々の生徒観察やふれあい月間中に実施される教員やS Cとの面談を適時に行う。「アンケート」を通して、「いじめ」等の早期発見に努める。さらに、必要に応じて、S S W、地域、関係諸機関との連携を密にし、早期対応を行い、本校の「いじめ防止基本方針」に沿って組織的に対応する。
- ③道徳教育や系統的な横断的学習を通して、思いやりの心や自己肯定感を育成する。
- ④係活動や生徒会活動、学校行事への参加、ボランティア活動、防災学習、社会的なルールやマナーの習得、リサイクル等の意識向上等を通して、「SDG's」「社会貢献」の精神を育成する。
- ⑤特別な支援が必要な生徒への配慮は、校内委員会や関係諸機関等の連携を通して、情報共有し、適切な対応を検討・実施する。必要に応じて、S Cや関係諸機関、特別支援教室（ゆうあい）との協力・連携を図り、効果的な教育活動を充実させる。

（3）豊かな個性と創造力の伸長

- ①3年間のキャリア教育（1年「職業調べ」・2年「職場体験」・3年「進路決定」）キャリア・パスポートを効果的に活用した「自己実現」のための成果を積み上げる。
- ②部活動（運動部・文化部）は、全教員が顧問とする。
- ③文化的な活動（音楽・美術・日本の伝統文化、「すみだ北斎美術館」、「日本の伝統音楽」等）を充実させ、生徒の感性を高めるとともに豊かな情操を育む。

（4）開かれた学校づくり

- ①学校だより・学年だより・学級だよりや学校ホームページなどを通して積極的に日々の教育活動を発信する。学校ホームページは、適時更新を行う。
- ②桜堤中ブロック幼保小中一貫教育における教職員間の情報交換、交流や連携と生徒・児童・園児間の交流を積極的に推進する。
- ③地域コミュニティとしての学校づくりを目指す。教育機能や施設・設備の提供、家庭や地域の教育力の向上、地域行事（町会や青少年育成委員会）やP T A活動等に教員が積極的に参加して、地域交流・連携に努める。
- ④災害時における防災拠点として役割を果たすために、地域と連携した防災教育や防災授業を実践し、充実を図る。桜堤中学校は東京都指定の広域避難場所内にあり、自然災害が発生した際には、避難所となる。ソーラーパネルによる発電設備やマンホールトイレなど緊急避難時に対応できる設備を備える施設であることを周知し、生徒・教職員が災害時に「自助・共助・公助」の活動ができるよう準備する。

（5）教員の資質向上

- ①学びの主体は生徒である。「主体的・対話的で深い学び」の授業を展開できる授業力を身に付ける。また、全教職員が教育公務員としての使命感と情熱をもち、校長の学校経営方針に基づいて学校全体で学力向上の取組を組織的に行う
- ②職員会議や校内研修等を通じてサービスの厳正化を図り、サービス事故の未然防止を徹底する。また、日頃から職務上・身分上、教育公務員として自覚をもち、サービスを厳守し学校への信頼を獲得する。

特に、「教師は最大の教育環境」という考えに立ち、立ち居振る舞い・言葉遣い・服装・受容的な態度等、教師としての在り方に十分配慮する。（人権上の不注意や不適切な言動、体罰等の厳禁はあってはならない。）